

E-キット シュウ酸測定用試料精製キット

Enzytec™ Sample purifier

製品番号
E2250

要 2~8 °C 保存

包装単位
20 試料用

はじめに

E-キット・シュウ酸測定用試料精製キットは、「E-キット・シュウ酸」（製品番号 E2100）および他の酵素法測定キットで定量する試料（例えばビールなど）の前処理段階でオプションとして使用できます。ただし、必須ではありません。

キットの原理

本キットには活性炭が含まれており、臭気、着色、還元物質（ある程度アスコルビン酸が含まれている場合）などを除去することが可能です。その作用は以下の2つです。

- ①化学的作用：炭素原子中のポアで酸素をトラップし酸化します。
- ②物理化学的作用：炭素原子をベースにした有機吸着物質およびトラップ物質が捕捉します。

キット内容

試薬 1（×20 個）：試料精製チューブで活性炭からなる粉末を含みます。そのまま使用します。

試薬 2（10 mL×1 本）：試料希釈液（濃度 5×）です。蒸留水 40 mL をビンに加えて完全に溶解するまで穏やかに混合してください（溶液 2 とします）。

キット以外に必要なもの

- チューブ（容量 15 mL 以上のもの、調製時に使用）
- 蒸留水（希釈用）
- 濃塩酸

取扱上の注意

本キットの試薬類に有害なものは含まれておりません。化学実験室における作業用一般安全性規則に準拠して、使用後は実験室廃棄物として処理できます。包装材料はリサイクルできます。

特記すべき事項

- i) シュウ酸その他標準液は、精製処理しないで下さい。精製キットにより標準液中の分析物質（シュウ酸標準液の場合、シュウ酸）がトラップされる恐れがあります。精製キットの機能性をチェックするためには測定用試料に標準液を添加したスパイクコントロールを測定し、その回収率が 95~105%になるか確認して下さい。
- ii) 試料中に除去すべき物質の含有量が少ない場合、測定物質（シュウ酸など）をトラップしてしまう可能性もあります。必ずスパイク（精製していない試料）も準備し、共に測定して測定値の比較確認を行ってください。
- iii) 本精製キットはシュウ酸測定キット（製造番号 E2100）以外にも組み合わせて使用することができます。その場合、下記の点にご留意ください。
 - ・試料調製手順 3 における試料液量は、測定に用いるキットの測定濃度範囲に合わせてうえで調製してください。
 - ・試料調製手順 5 における試料の pH は、測定に用いるキットに適用可能な pH 範囲に合わせて調製してください。

株式会社 J.K.インターナショナル

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 5F
TEL 03-6661-6132 FAX 03-6661-1091
E-mail: info@jki.co.jp URL: http://www.jki.co.jp